

北海道物産陳列場要覽

北海道物産陳列場要覽



次

沿	革	一
諸	規則	二
(一)	北海道物産陳列場規則	三
(二)	同 處務規程	十一
(三)	同 職員服務心得	十四
三、	職員	十六
四、	敷地及建造物	十七
(一)	敷地	十七
(二)	建造物	十七

印 治
44. 7. 26
内 交

五、經費豫算	十八
六、四十三年度館務ノ概況	二十
七、開館日數及入場人員	二十二
(一) 開館日數及入場人員表	二十三
(二) 開館日數及入場員累年比較表	二十四
八、陳列品	二十四
(一) 現在陳列品類別表	二十五
(二) 陳列品受拂一覽表	二十七
九、委託販賣	二十八
(一) 販賣點數價格累年比較表	二十九
(二) 販賣點數價格月別表	三十
(三) 委託販賣品現在表	三十二

十、文書收受發送件數	三十六
(一) 受信件數	三十六
(二) 發信件數	三十七

北海道物産陳列場要覽

一、沿革

本場ハ明治二十五年官設ニ係ル北海道物産共進會ノ閉會後其ノ建設物及陳列品ノ一部ヲ存置創立セルモノニシテ其ノ經營費モ亦國費支辨ニ屬セリ抑モ此當時ニ在テハ本道拓殖ノ業漸ク進ミ生産ノ發達稍見ルヘキモノアルニ至レリト雖世人ハ未タ諸物産ノ豊富ニシテ且ツ其ノ人爲的發展ノ餘地極メテ大ナルヲ周知セサルノ状態ニアリ之ヲ以テ本場ハ主トシテ本道水陸ノ物産並ニ未成品原料等ヲ蒐集陳列シ況ク公衆ノ觀覽ニ供シ以テ本道ノ眞價ヲ内外ニ紹介シ之カ開發進步ヲ促スニ努メタリ降テ明治三十四年ニ至リ本道拓殖ノ進運ニ從ヒ北海道地方費法ヲ實施セラル、ニ及ヒ本場モ亦北海道地方費ノ經營ニ移レリ後明治三十九年北海道物産共進會開催ノ舉アルニ際シ本場全部ヲ該共進會ニ貸與充用セシム同會閉會後其ノ建物及陳列品ノ大部ヲ存置

シ本場ノ擴張上多大ノ便益ヲ得タリ而シテ此當時ヨリ陳列品ニ就テモ彼ノ長ヲ採リ我ノ短ヲ補フ目的ヲ以テ外國製品及各府縣ノ物産ヲ購求シ又農商務省商品陳列館ヨリハ或期間最新有益ナル參考品ノ貸與ヲ受ケ之ヲ陳列シテ當業者研鑽ノ資ニ供セリ尙此外本道各地ニ於テ共進會品評會開催ノ際ハ本場ヨリ參考品ヲ貸與シ地方當業者ヲシテ努メテ新來ノ物質的進步ニ接觸セシメ以テ産業上ノ智識啓發ヲ圖レリ陳列品ノ新陳代謝ニ至リテハ各年度經費豫算ノ許ス限度ニ於テ購求補填ノ途ヲ講シ其ノ他毎年本道各地ニ於ケル共進會品評會等ノ出品並各地方個人ノ寄贈及ヒ寄託ヲ受ケ其ノ寄託品ニ在テハ概ネ一ケ年毎ニ交換セシメ尙ホ明治三十九年ヨリ委託販賣ノ途ヲ開キ傍ラ之レヲ參考品ニ代用シテ其ノ缺陷ヲ補ヒ以テ社會ノ風潮ニ遅レサランコトヲ期セリ

二、諸規則

(一) 北海道物産陳列場規則

第一章 總 則

第一條 本場ハ石狩國札幌區ニ設置ス

第二條 本場ハ左ノ事業ヲ行フ

- 一 本道生産ニ係ル各種ノ物産竝參考上必要ナル内外國ノ物産ヲ蒐集陳列シ及工業ノ模範ヲ公衆ノ觀覽ニ供スルコト
- 二 本道ニ於テ開催スヘキ公益ヲ目的トスル共進會品評會展覽會竝物産陳列場ニ參考トナルヘキ物品ヲ一定ノ期間貸付スルコト
- 三 一般ノ委託ヲ受ケタル物品ヲ販賣スルコト

第三條 本場ノ陳列品ハ之ヲ左ノ五種ニ分ツ

- 一 備付品 本場ニ於テ購入シタル物品又ハ有志ノ寄贈ニ係ル物品
- 二 借入品 參考ノ爲特ニ本場ニ於テ借入タル物品
- 三 寄託品 當業者ヨリ本場ニ陳列ヲ寄託セル物品

四 委託販賣品 當業者ノ委託ニ應シ本場ニ於テ販賣スヘキ物品

五 本場生産品 本場ニ於テ生産シタル物品

第四條 本場ノ陳列品ハ農業、林業、水産業、鑛業、及工業ノ五部ニ大別シ更ニ之ヲ各類ニ細別ス

第五條 寄贈寄託及委託販賣品トシテ本場ニ陳列ヲ許スヘキ物品ハ産業上裨益アリト認ムルモノニ限ル但シ其ノ性質又ハ本場ノ都合ニ依リ之ヲ拒絕スルコトアルヘシ

第六條 陳列品ハ本場ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖モ水盜火其他不可抗力ニ依ル破損紛失ニ對シテハ本場其ノ責ニ任セス

第二章 出 品

第七條 本場ニ物品ヲ寄贈又ハ寄託シ若ハ委託販賣セントスル者ハ第一號書式ノ願書ヲ差出シ本場ノ許可ヲ受クヘシ

第八條 出品人前條ノ許可ヲ得タルトキハ現品ヲ本場ニ持參シ又ハ堅牢ナル荷造ヲ

ナシ入記目錄ヲ添ヘ之ヲ本場ニ送付スヘシ

出品人前項ノ手續ヲ了シタルトキハ直チニ運送ノ方法年月日及運送取扱人ノ氏名ヲ本場ニ通知スヘシ

第九條 本場ニ於テ出品物ヲ受領シタルトキハ之ヲ入記目錄ト對照シ受領證ヲ交付スヘシ若シ不足又ハ損傷ノ物品アルトキハ其旨ヲ通知スヘシ

第十條 出品物ノ荷造費及運搬賃ハ總テ出品人ノ負擔トス但シ寄贈品ニ限り本場ニ於テ其ノ一部又ハ全部ヲ負擔スルコトアルヘシ

第十一條 寄託品ノ陳列期限ハ滿一ケ年以内トス但シ物品ノ性質ニ依リ本條ノ期限ヲ經過スルモ特ニ繼續出品ヲ許スコトアルヘシ

第十二條 寄託品ヲ引換ヘ又ハ之カ下戻ヲ請求セントスル者ハ第九條ノ受領證ヲ添ヘ其旨本場ニ申出ツヘシ

第十三條 出品人ハ豫メ本場ノ承諾ヲ得自己ノ出品ニ對シ自費ヲ以テ特別ノ裝飾ヲ爲スコトヲ得

第三章 觀 覽

六

第十四條 本場ハ毎年四月十五日ヨリ十一月十五日迄開場ス但シ本場ノ都合ニ依リ臨時閉場シ若クハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

第十五條 觀覽時間ハ四月十五日ヨリ五月三十一日ニ至ル毎日午前八時ヨリ午後四時迄六月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル毎日午前八時ヨリ午後五時迄九月一日ヨリ十一月十五日ニ至ル毎日午前八時ヨリ午後四時迄トス但シ本場ノ都合ニ依リ觀覽時間ヲ變更スルコトアルヘシ

第十六條 觀覽人ハ入場ノ際入場料ヲ納付シテ入場券ヲ受取り退場ノ際之ヲ返還スヘシ但シ學校生徒ニシテ隊伍ヲ爲シ職員之ヲ引率スルモノ及六歳未滿ノ者ハ入場券ヲ要セス

第十七條 入場料ハ一人ニ付貳錢トス

第十八條 瘋癲白痴又ハ酩酊者或ハ他ノ觀覽ヲ妨害スルノ虞アリト認ムル者ハ入場ヲ拒絕シ或ハ退場セシムルコトアルヘシ

第十九條 觀覽人ハ係員ノ承諾ナクシテ猥リニ陳列品ニ手ヲ觸ルヘカラス若シ誤テ物品ヲ毀損若ハ破損シタルトキハ其ノ損害ヲ辨償セシムヘシ

第二十條 觀覽人ハ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

- 一 喫煙ヲ爲スヘカラス
- 二 喧噪雜沓又ハ風俗ヲ紊ルノ行ヲナスヘカラス
- 三 危險、汚穢ナル物品ヲ携ヘ又ハ動物ヲ牽キ入場スヘカラス

第四章 委託 販賣

第二十一條 委託販賣品ハ本場ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ出品人ノ申出アリタルトキハ何時ニテモ引換又ハ返戻ヲ爲スヘシ

第二十二條 本場ハ委託販賣品ニ對シ手数料トシテ賣上價格百分ノ五ヲ徵收ス

第二十三條 販賣代金ハ毎月五日迄ニ前月分ヲ取纏メ之ヲ出品人ニ送付スヘシ但シ豫メ時日ヲ通知シ本人又ハ代理人參場シテ代金ノ下渡シヲ請求スルトキハ隨時之ヲ交付ス

七

第二十四條 委託販賣手数料及販賣代金送付ニ要スル費用ハ委託品賣代金ノ内ヨリ之ヲ扣除ス

第二十五條 販賣委託者ハ豫メ送金ノ方法及販賣代金ヲ受領スヘキ郵便局又ハ銀行名ヲ本場ニ届ケ置クヘシ

第二十六條 委託販賣ノ價格ヲ變更セントスル者ハ本場ニ申出テ其訂正ヲ求ムヘシ

第二十七條 委託販賣品ヲ購入セントスル者ハ其ノ旨口頭ヲ以テ看守人ニ申出ツヘシ

第二十八條 購入シタル物品ノ引渡シヲ受ケタルトキハ之ヲ場内ニ置クヘカラス

第五章 参考品貸付

第二十九條 第二條第二號ニ該當スル共進會品評會展覽會並物産陳列場ニ於テ参考品ノ貸付ヲ受ケントスルトキハ其ノ規則書ト共ニ左記各號ノ事項ヲ記載シタル貸付願ヲ差出シ本場ノ許可ヲ受クヘシ

一 貸付ヲ受ケムトスル物品ノ名稱並數量

二 貸付ヲ受クル目的

三 陳列スヘキ場所

四 貸付ノ期間

第三十條 前條ノ許可ヲ受ケタル者ハ品名數量並返納期日ヲ記載シタル借用證ヲ本場ニ提出シテ現品ヲ受領スヘシ

第三十一條 貸付ノ期間ハ特別ノ事由アルモノ、外滿二ヶ月ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十二條 貸付ニ係ル物品ノ荷造及運搬費ハ往復共ニ貸付ヲ受ケタル者ノ負擔トス但シ本場ニ於テ必要ト認ムルトキハ貸付スヘキ物品ニ損害保險ヲ付セシメ貸付ヲ受ケタル者ヲシテ其ノ保險料ヲ支辨セシムルコトアルヘシ

第三十三條 貸付ヲ受ケタル者其ノ物品ヲ亡失シ若ハ損傷シタルトキハ之ヲ辨償セシム但シ天災又ハ不可抗力ニ原因シタルトキハ之ヲ免除スルコトアルヘシ

第三十四條 本場ニ於テ必要アルトキハ貸付期間中ト雖其ノ物品ヲ返納セシムルコトアルヘシ

書式第一號

十

(物品寄贈)(寄託出品)(物品委託販賣)願

品名	數量	代價	產地又ハ製造人	說明
何々々				
何々々				
何々々				

右御規則ヲ遵守シ貴場ニ寄贈致(寄託出品致)(委託販賣相願)度候間御許可相成度候也

年 月 日

出品人住所職業

氏 名 印

北海道物産陳列場長殿

(備考)代價欄ニハ寄贈、寄託品ニ在リテハ卸賣及小賣ノ價格ヲ委託販賣品ニ在リ

テハ本場ニ於テ販賣スヘキ價格ヲ記スヘシ

説明欄ニハ出品物ノ効用、使用法、販路及一ケ年ノ産額等ヲ記スヘシ

(二) 北海道物産陳列場處務規程

第一條 本場ニ左ノ職員ヲ置ク

- 場 長 一 名
- 幹 事 二 名
- 委 員 若 干 名
- 書 記 若 干 名
- 看 守 長 一 名
- 看 守 若 干 名

第二條 場長ハ幹事以下ノ職員ヲ指揮監督シ本場一切ノ事務ヲ總理ス

第三條 幹事ハ場長ノ命ヲ受ケ場務ヲ處理ス

第四條 委員ハ必要ニ應シ本場出品ノ蒐集及陳列ニ從事ス

第五條 書記ハ場長及幹事ノ命ヲ受ケ會計陳列其ノ他ノ庶務ニ従事ス

第六條 看守長ハ場長以下ノ命ヲ受ケ看守ヲ指揮シテ陳列品ノ看守及本場内外ノ保護取締ニ従事ス

第七條 看守ハ看守長ノ指揮ヲ受ケ陳列品ノ看守及本場内外ノ保護取締ニ従事ス

第八條 場長事故アルトキハ首席幹事ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシム

第九條 左ニ掲クル事項ハ場長限り之ヲ處分スルコトヲ得但事ノ重大ナルモノハ此限ニアラス

一 出品ノ陳列場内ノ整理及其他設備ニ關スル一切ノ件

二 書記以下管内出張ニ關スル事

三 職員事務分掌ノ事

四 寄贈品寄託品ニ關スル事

五 委託販賣ニ關スル事

六 見積價格一口金貳拾圓未滿ノ物品購入ニ關スル事

七 見積價格一口金貳拾圓未滿ノ本場生産品ノ販賣並ニ不用品處分ニ關スル事

八 見積價格一口金拾圓未滿ノ修繕ニ關スル事

九 書記以下職員ノ進退身分ニ關スル事

十 傭人ノ使用及物品ノ運搬書類ノ製本等ニ關スル事

十一 本場備付品ヲ他ニ貸付スル事

場長ハ所管ノ事務ヲ處理スル爲場長名又ハ場名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得
第十條 本場ニ左ノ帳簿ヲ備置キ書記ハ之ニ必要ナル事故ヲ記入シ隨時場長及幹事ノ檢閲ヲ受クヘシ

一 陳列品番號簿

二 陳列品臺帳

三 陳列品受拂簿

四 委託販賣受拂簿

五 委託販賣現金内譯簿

六 委託販賣日計簿

七日誌

八 入場人員調

九 生産品並生産原料受拂簿

第十一條 諸帳簿ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

十四

(三) 北海道物産陳列場職員服務心得

第一條 本場ニ勤務スル職員ハ毎日勤務時間迄ニ出勤簿ニ捺印スヘシ
病氣其ノ他ノ爲缺勤スルトキハ出勤時間マテニ事務所ニ届出ツヘシ

第二條 書記以下ノ職員ハ交代當直及宿直ヲナスヘシ

第三條 當宿直時限左ノ如シ

當直 休日中規則第十五條ノ觀覽時間内

宿直 前項及規則第十五條ノ時間外

第四條 當宿直員ハ鎖鑰ヲ保管シ本場ノ開閉ヲ管理スヘシ

第五條 當宿直員ハ火災盜難其ノ他ノ非常事變ヲ警戒シ若シ事變ノ發生シタル場合
ハ直ニ場長ニ報告シ臨機ノ處置ヲナスヘシ

第六條 本條職員觀覽人ニ接スルトキハ努メテ其ノ態度言語ヲ叮嚀ニシ質問又ハ委託販賣品ノ購買ニ對シテハ懇切ニ應答スヘシ

第七條 來觀人中本場規則ニ觸ル、者アリタルトキハ徐ロニ之ヲ説諭シ應セサル者
ハ退場其ノ他適當ノ處置ヲ取ルヘシ

第八條 看守長及看守ハ毎日開場時限三十分前ニ出勤シテ場内ヲ檢閲シ開場中常ニ
巡視シ閉場後更ニ陳列品ヲ點檢スヘシ

第九條 看守ハ看守長ノ指揮ヲ受テ朝夕受持區域内ノ陳列品及容器ヲ拂拭シ場内ノ
通路ハ協同シテ塵芥ノ掃除ヲナスヘシ

第十條 本場内外ノ物品ニ異狀アリタルトキハ看守ハ直チニ之ヲ看守長ニ報告シ看
守長ハ場長ニ之ヲ報告スヘシ

第十一條 本場職員ハ場長ノ決裁ヲ經スシテ場名ヲ用ヒタル文書ヲ發送スルコトヲ
得ス

第十二條 火災大風其他非常ノ時變アルトキハ本場職員ハ休日又ハ執務時間外ト雖
速ニ參場スヘシ

三、職員

十六

場長	北海道廳事務官	橋本正治
幹事	同	橫瀬農夫也
委員	同	山田勝伴
同	技師	三浦吉四郎
同	技手	國分茂八
同	同	下村人信
書記	同	上杉榮三郎
同	同	栗原惣次郎

外ニ看守長壹名看守若干名（看守ハ毎年十一月十五日閉館ト共ニ解雇シ四月十五日開館ノ際更ニ募集ノ上雇入ル）

四、敷地及建造物

(一) 敷地

本場ノ敷地ハ北海道地方費ノ所屬ニシテ其總坪數ハ八千八百九拾貳坪七合參勺四才札幌區ノ南端ニ位シ停車場ヲ距ル拾數町中島公園ノ一部ヲ占ム構内ハ一面密生シタル軟草氈ノ如ク大古以來斧鉞ヲ容レサル老樹鬱蒼トシテ大空ヲ磨シ短松稚櫻其ノ間ニ相交リ風光洵ニ掬スヘク春花秋月吟杖ヲ曳クニ適セリ

(二) 建造物

本場建造物ハ物品ノ陳列ニ充ツヘキ第一館第二館ヲ主トシ外ニ林業館、事務所、舊事務所、職員宿舍、倉庫物置四阿等トス第一館ハ明治三十九年北海道物産共進會ノ開催アリシ際同會ニ於テ建設寄贈ニ係ルモノニシテ第二館ハ明治二十五年共進會ノ遺物タリ林業館ハ本道産各種ノ建築材料ヲ蒐メ木材ノ利用ヲ示シタル標本家屋ニシテ三十九年共進會ノ際北海道林業會ノ建設シタルモノヲ買入レタルモノナリ更ニ各

建築物ノ坪數ヲ舉クレハ左ノ如シ

名稱	坪數	名稱	坪數
第一館	二階 六拾六坪五合	第二館	貳百四拾參坪貳合五勺
林業館	平家 貳百拾參坪	渡リ廊下	參拾壹坪七合五勺
事務所	拾壹坪五合	職員宿舍	貳拾八坪
舊事務所	四拾參坪五合	板倉	拾八坪
下足預リ所	拾貳坪	第一號阿	貳坪貳合五勺
物置	八坪	第二號阿	參坪四合
第一號井戸屋形	壹坪四合貳勺五才	第二號井戸屋形	貳坪六合貳勺五才
第一號便所	壹坪參合參勺參才	第一號便所	貳坪
第三號便所	四坪五合	第二號便所	貳坪
第二號六角便所	壹坪	第一號六角便所	壹坪

合計 七百貳拾九坪貳合八勺參才

五、經費豫算

本場ノ經費ハ創立當時ヨリ明治三十三年度迄國費支辨ノ時代ニ在テハ各年度平均約五百圓ナリシカ其ノ地方費支辨ニ移ルヤ漸次擴張改善ヲ加フルニ從ヒ經費豫算モ亦一ケ年貳千五百圓内外ニ達セリ尙ホ明治四十年度ニ至リ更ニ事業擴張ノ目的ヲ以テ多少經費ヲ増加セリ今最近三ケ年間ノ經費豫算ヲ舉クレハ左ノ如シ

歲出區分	節	目	年度		
			四拾貳年度	四拾參年度	四拾四年度
經常費	節	諸給	七六八〇〇	七六八〇〇	七九二〇〇
		雜給	三三六〇〇	三三六〇〇	三三九八〇
		修繕費	二、三九〇八三一	二、三九五七五〇	二、八二三八一〇
		場費	三〇二八五〇	二九三二五〇	三四六八六〇
		俸給	三、七九七〇〇〇	三、七九三〇〇〇	四、三〇二四七〇
		旅費	七二〇〇〇〇	七二〇〇〇〇	七九二〇〇〇
		事務費	八四五〇〇	八四五〇〇	八四五〇〇
		賞與	一八二五〇	一八二五〇	一八三〇〇
		小計	三〇〇〇〇	三〇〇〇〇	三三〇〇〇
		合計	八五二七五〇	八五二七五〇	九二七八〇〇
總計			四、六五〇四三一	四、六四五七五〇	五、二三〇二七〇

臨時費		物産陳列費		建築費	
小計	總計	小計	總計	小計	總計
	四、六五〇		四、四三一		
				三〇〇〇〇	三〇〇〇〇
				三〇〇〇〇	三〇〇〇〇
				四、九四五	五、二七〇
				七五〇	二七〇

二十

六、四十三年中館務ノ概況

本場ハ毎年冬季間ニ於ケル閉館ノ期ヲ利用シテ陳列品ノ整理及參考品ノ交換陳列替ハ勿論各戸棚ノ位置ヲ變換シ其ノ裝飾品ノ設備ヲ新テ觀覽人ノ注意ヲ喚起セシムル等諸種ノ準備ヲ整ヘ以テ四月中旬開館スルヲ例トシテ從來本場參考品ノ陳列ハ部類別陳列ノミナリシカ本年度ニ至リテハ其ノ一部ヲ系統的陳列ニ改メ以テ製品ト原料トノ關係連絡ヲシテ一目瞭然タラシメ尙ホ其ノ各品種毎ニ既往十ケ年間ニ於ケル産額ノ統計圖ヲ掲ケ以テ當業者ノ便益ニ供シ又本年度ヨリ新ニ機織事業ヲ開始シタリ抑モ機織業ハ一般農村ノ副業トシテ最モ適當ノモノニシテ殊ニ本道ニ於ケル農家ノ如キ冬季比較的閑散ナル時期ニ於テ之ヲ行フハ最モ有利ナルニ關セス本道ハ新

開地ニ於ケル状態トシテ勞力ノ需用繁多ナルニ依リ機織業ノ如キ細心精緻ノ技術ヲ要スルモノニ向テハ兎角注意ヲ拂ハス爲ニ本道婦女子ノ大多數ハ其ノ趣味ヲ解セス之レヲ等閑ニ附スルノ結果殆ント其ノ需用全部ヲ府縣ノ供給ニ仰クノ状態ナリトス故ニ本場ニ於テハ之カ通弊ヲ矯正シ其ノ企業心ヲ喚起セシメ專業者ト相提携シ以テ斯業ノ進步發達ヲ促スノ目的ヲ以テ豫テ參考品トシテ陳列シアル機臺ヲ實地ニ使用シ其ノ實況ヲ示スコト、シ北海道廳ノ經營ニ係ル織染業講習所ニ於テ養成セラレタル修業生ヲ雇入レ機織ヲ實行シテ之ヲ公衆ニ示シ而シテ其ノ製造ニ係ル織物ハ適當ノ價格ヲ付シ本場ニ陳列シテ之ヲ販賣セシナ以テ他日其ノ効果ノ顯ハル、ノ期アルヲ信ス又觀覽人ヲ誘致シテ本場設立ノ趣旨ヲ普及セシムル手段トシテ從來第一館樓上ノ大廣間ヲ貸與シテ諸種ノ展覽會品評會等ヲ開催セシメ又標本家屋林業館ヲ汎ク各種ノ集會ニ貸與シ或ハ庭園ヲ修理シテ散策ニ適セシムル等ノ設備ヲ爲セシカ本年ニ至リテハ更ニ該大廣間ヲ個人若シクハ各種ノ會社等ニ貸與シ廣告的ニ商品ヲ陳列セシメ且之ヲ即賣シ得ルノ方法ヲ設ケテ廣ク之ヲ貸與セシニ大ニ世人ノ嗜好ニ投シ

其ノ効果極メテ良好ナリシカ如シ又本道ハ毎年七八月ノ交ニ及ヘハ避暑ヲ兼テ府縣官民ノ視察者多キヲ常トセリ本年亦其ノ例ヲ違ヘス視察者ノ來道頗ル多ク殊ニ前年ニ見サル多數ノ團隊視察アリ是等視察者來觀ノ際ハ本場ニ於テモ特ニ觀覽上ノ便宜ヲ與ヘ且ツ其ノ説明ニ至リテハ隨時各專門家ノ派出ヲ道廳ニ要求シ是等專門家ニヨリテ各種生産物ノ状態ヲ説明セシメ以テ其ノ販路ヲ紹介スルニ努メタリ其ノ他本年度農商務省商品陳列館ヨリ借入陳列セシ參考品ハ海外製品ニ係ル林産織物農産等二十三點ニシテ又本場陳列品ヲ貸與陳列セシメタルハ小樽新聞社ノ主催ニ係ル瀛車博覽會外四ヶ所ナリ其ノ觀覽人員並陳列品及委託販賣ノ狀況等ハ以下各項ニ掲クル所ノ如シ其ノ他職員移動ノ重ナルモノハ四十二年六月中場長濱田恒之助富山縣知事ニ轉任シ後任トシテ現場長北海道廳事務官橋本正治就任セリ

七、開日數及入場人員

本場ハ本道ニ於ケル氣候ノ關係上毎年九月以降觀覽人漸次減少シ十月下旬降雪ヲ見ルノ期ニ至リテハ觀覽人ノ足跡殆ント絶ユルヲ常トス故ニ毎年十一月十五日ヲ以テ其ノ年ニ於ケル開館ノ最終日トシ冬季間閉館シテ翌年四月十五日ヲ以テ開館セリ今開館日數及觀覽人員ヲ舉クレハ左ノ如シ

(一) 開館日數及入場人員

(四十二年)

月次	日數及人員	開館日數	入場人員	一日平均人員
四月		一六	二、八三五	一七七、二
五月		三一	三、一〇七	一〇〇、六
六月		三〇	三、三三一	一一一、〇
七月		三一	二、一六八	六九、九
八月		三一	一、五一八	三七、五
九月		三〇	二、七二三	九〇、八
十月		三一	二、八一〇	九〇、六
十一月		一五	七〇八	四七、二
十二月		二五	二九、二〇〇	一三五、八
合計		二一五		

(二) 開館日數及入場人員累年比較表

年 度	日數及人員	開 館 日 數	入 場 人 員	一 日 ノ 平 均 人 員
三 十 九 年	五九	二一八	三、二六〇	五五、三
四 十 一 年	二一五	二一八	二八、二五八	一三〇、〇
四 十 二 年	二一五	四六、八四二	四六、八四二	二一七、八
四 十 三 年	二一五	三八、三七五	二九、二〇〇	一七八、四
				一三五、八

三十九年ハ六月以降本場全部ヲ北海道物産共進會ニ貸與セリ

八、陳 列 品

本場ノ陳列品ハ本道及府縣ノ生産品竝ニ諸外國ノ物産ヲ竝置ス而シテ此内本道産ヲ本位トシ他ハ皆參考品トス故ニ本道以外ノ物産ハ本道産業界發達ノ程度ヲ顧慮シ之ニ伴フ品種ヲ撰定シテ購求陳列セリ陳列品ヲ大別シテ五部トシ更ニ之レヲ三十類ニ

細別ス其ノ陳列品及受拂等現在數左表ノ如シ

(一) 現在陳列品類別表

類 別 種 目	備 付 品		寄 託 品	計
	購 入	寄 贈		
第一部 農業	五二	一、〇六三	五	一、一二〇
農 產 製 造 品 物	六二	一一二	〇	一七四
農 產 製 造 具 類	八〇	二	〇	一〇二
肥 料 類	八	三六	〇	四四
畜 產 製 造 品 類	二八	三一	〇	五九
畜 產 器 具 類	七	〇	一〇	一七
家畜家禽飼料類	〇	〇	〇	〇
農産ノ圖書統計及標本	〇	〇	九	九
第二部 林業	二三七	一、二六四	四四	一、五四五
林 產 物	一五〇	〇	〇	一七〇
林 產 製 造 品 類	一一	二四	〇	三五
林 業 器 具	〇	〇	〇	〇

四	四	四	四
十	十	十	十
三	二	一	
年	年	年	年
二一五	二一五	二一五	二一八
七、九〇七	九、〇〇九	一、六七六	七、二四七
一、三〇九	一、六五九	二、一〇〇	一、九八四
七三六	六一七	〇〇六	九九九
三六、七	四一、九	五四、三	三二、三
六〇九	七七一	九七六	九一〇
九一	七一九	七六七	〇五

(二) 四十二年販賣點數價額月別表

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	計
吳服類	〇、四五一	四、二五〇	一、五三三	八、三一五	二、九三三	三、八三〇	六、二六〇	一、九七〇	六三、三三〇
菓子類	七、八三八	一〇、一八五	一、六五〇	一〇、二六八	九、五〇九	五、〇三七	四、七三六	〇、六六〇	五九、八六二
漆器類	三、三〇四	八、五六六	六、二五五	四、八一〇	六、四一〇	六、六九七	二、六八六	五、四八六	四三、三三九
酒類	一、九八〇	二、〇〇六	三、一〇〇	二、一九〇	四、〇四三	二、〇八八	〇、九九三	二、〇八七	一八、四六三
罐詰類	〇、五四二	〇、一五〇	一、九六一	〇、八六五	一、四一五	二、八二五	〇、一八〇	〇、三五〇	八、一七四
履物類	二、九一〇	一、七三二	一、九四九	七、四四三	二、一三〇	一、〇三三	八、九三三	一、〇〇〇	二一、〇〇〇
石細工類	二、五七一	五、七三三	四、八二二	八、六五五	三、〇九八	二、七八七	五、七〇六	一、〇〇〇	二一、二八七
人形類	一、一八九	一、四二四	一、九三三	一、四二二	二、三三〇	一、三三〇	一、五八五	一、六四〇	一三、九七〇
陶器類	一、八八五	一、七四五	七、五五二	八、〇三九	八、五九一	六、六三五	一、六四一	〇、六六〇	四六、七五五
化粧類	〇、四九五	三、一八八	五、〇五三	三、三三八	八、六三五	四、〇九四	六、二八六	〇、七四五	三〇、六七五

品名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	計
繪端書	三、〇八九	七、一六一	七、二二六	一〇、四三三	一四、四五一	六、七四五	六、七四三	〇、七五四	五六、六四五
印刷器類	〇、九八〇	三、一七一	三、五二二	三、七〇二	五、四七五	二、七〇三	四、二四〇	〇、八六〇	二二、一七三
洋服及附屬品類	二、一九四	四、二五六	二、六六一	二、二二〇	三、四三六	一、〇四五	二、六二五	〇、三七〇	一六、六一〇
玩具類	七、八三七	八、二四四	七、四一五	九、九二〇	九、九二〇	五、四三三	五、一〇七	〇、二九〇	三九、七〇五
金物類	四、一七三	四、〇二六	四、二七九	〇、四三六	〇、九一三	〇、三三三	四、七八〇	一、二四〇	一六、六一〇
釜具類	三、五〇〇	三、三〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	二六、一〇〇
木工製品類	八、九三三	一、七三〇	二、九一〇	九、八九〇	九、八九〇	三、一〇五	〇、八五〇	二、五三〇	三九、三六七
革製品類	一、五〇〇	一、八二四	一、八二四	一、八二四	一、八二四	一、八二四	一、八二四	一、八二四	一七、六〇八
文具類	〇、六九九	一、八二四	二、四六五	四、〇一四	三、六五五	四、二六四	四、九一五	〇、二五五	三三、〇〇四
編物類	七、三三八	二、一七三	七、八〇〇	七、八〇〇	九、八一〇	七、〇八〇	三、八八〇	〇、七九〇	二一、三三九
洋物類	七、九四〇	七、三八〇	六、八三三	六、三一一	八、四一〇	五、七八〇	一、八三〇	〇、六八〇	六五、三六三
八苦味類	〇、四〇五	〇、一四〇	〇、三三〇	〇、七六八	〇、六四七	〇、〇七〇	〇、九四二	〇、〇七〇	四、一六〇
小間物類	九、〇〇九	六、三三〇	一、〇七四	一、〇七四	三、七八〇	九、五八三	四、七三三	〇、九一〇	五四、〇九〇
櫻皮細工類	〇、二二〇	〇、三六四	一、五六〇	一、五六〇	一、五六〇	一、五六〇	一、五六〇	一、五六〇	一三、九一五

三十一

木製工器具類
 皮革物類
 小間物類
 櫻皮類
 糸類
 傘類
 麵類
 埋木類
 蔓物類
 電氣器械類
 眞綿類
 昆布類
 蠟燭類
 造細工類
 石細工類
 珊瑚類

三〇六	二二	八一	三三六	一四七	八八	三二二	九九	八八	一三	一六	八九	七八	七八	二二	一三	七一	六一	一、二七二	八
一六三一七五	四七四五〇	六四三四〇	八三七八〇	一〇一七九〇	一五〇六〇	七四一九五	一九八七五	二九九〇〇	四四五〇	六六〇〇	四六二八〇	二一三五五	一四〇四二〇	七五〇〇	六一五〇	一〇八〇	一六八七五	三三九七一五	一一八〇〇

各出品者ノ府縣別ハ左ノ如クニシテ他ハ本道ノ出品者トス

東京府	吳服類	人形類	二六〇〇〇
京都府	吳服類	漆器、菓子、化粧品	六、三八三、五八九
新潟縣	吳服類	漆器、菓子、化粧品	二六〇〇〇
山形縣	吳服類	化粧品	二六〇〇〇
岩手縣	釜類	化粧品	二六〇〇〇
福井縣	漆器	化粧品	二六〇〇〇
秋田縣	漆器	化粧品	二六〇〇〇
福島縣	漆器	化粧品	二六〇〇〇
福島縣	漆器	化粧品	二六〇〇〇
岐阜縣	石細工	化粧品	二六〇〇〇
高知縣	珊瑚細工	化粧品	二六〇〇〇

農具

計

具

一〇、五四四

二六〇〇〇

八八

奈良縣	農具
福岡縣	陶器
宮城縣	漆器、文具類、埋木細工、造花、麵類、金物類、
石川縣	漆器

十、文書ノ收受發送

本場ニ於テ本年度中信書ノ發着件數左ノ如シ

(一) 受信件數

一 調査ニ關スル件	貳拾四件
一 委託販賣ニ關スル件	百九拾貳件
一 物品寄贈ニ關スル件	貳百拾壹件
一 雜件	五拾八件

計 四百八拾五件

(二) 發信件數

一 調査ニ關スル件	貳拾九件
一 委託販賣ニ關スル件	貳百六件
一 物品寄贈ニ關スル件	貳百六拾八件
一 雜件	九拾壹件
計	五百九拾四件

明治四十四年七月十三日印刷
明治四十四年七月十五日發行

北海道物産陳列場

印刷人

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

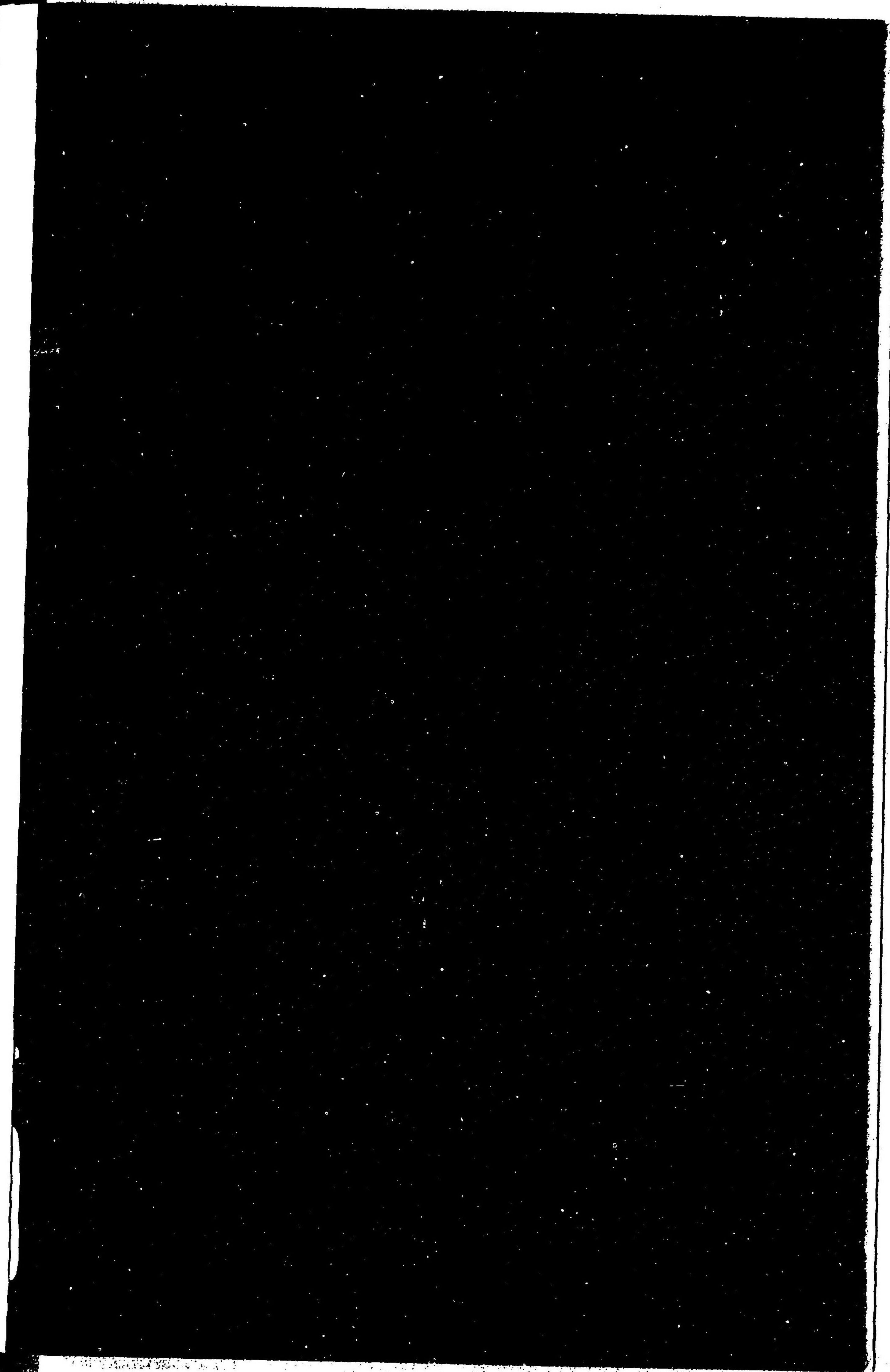
勝亦省三

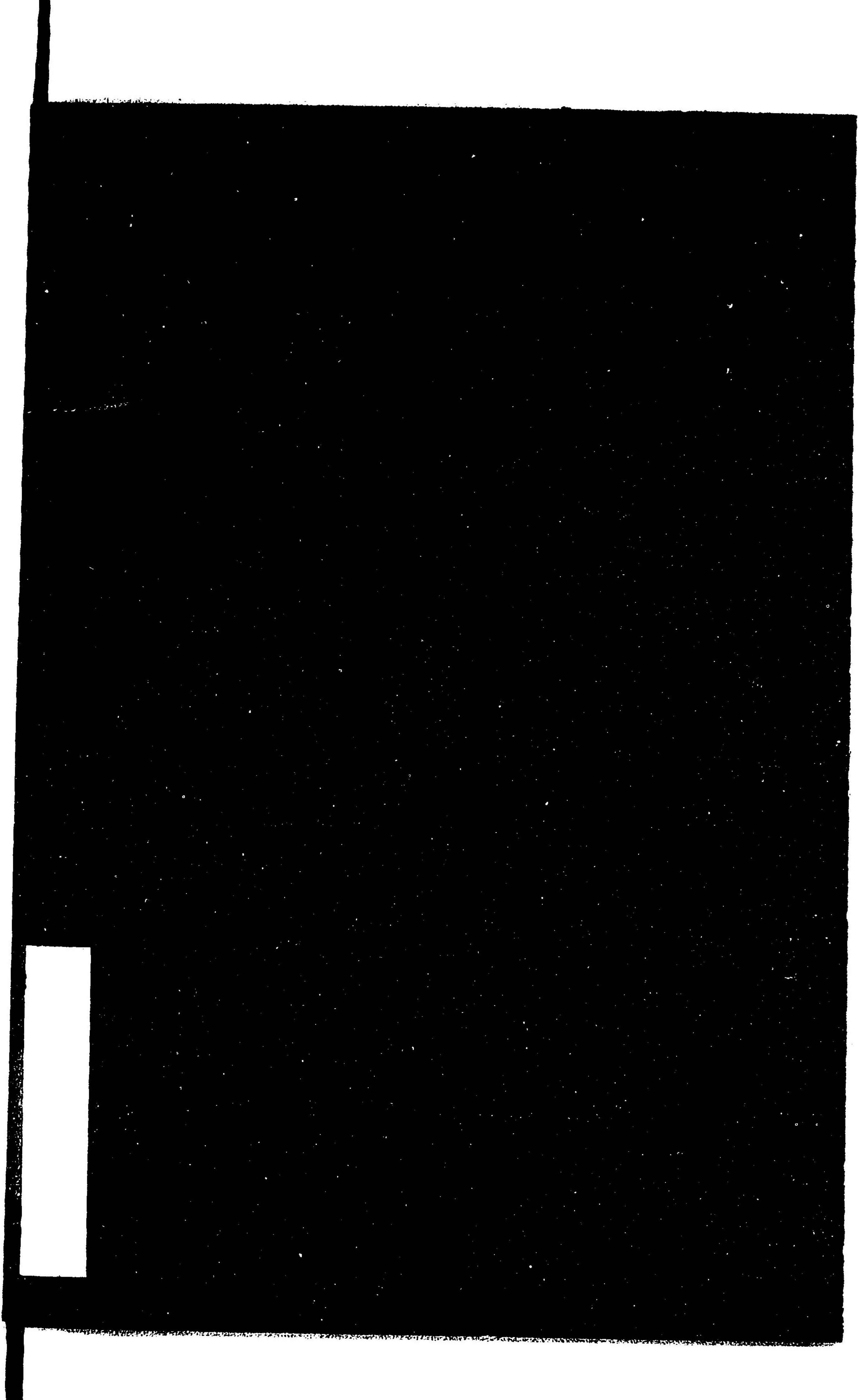
印刷所

東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地

株式會社 秀英舍工場

267
126





特45

298

北海道物産陳列場要覽

国立国会図書館

042101-000-0

特45-298

北海道物産陳列場要覽

北海道物産陳列場

M44

BDI-1062

